

高等学校等体験入学に参加するにあたって

休校期間が明け、早くも2か月が過ぎました。短いながらも夏休みがやってきます。ここから本格的に体験入学が始まってきますが、参加申し込みはできていますか。No. 7でお知らせしたように、ネットでの申し込みが必要な学校がありますので、こまめに情報を得るようにしていただください。



参加するにあたって、事前指導も行っていますが、当日の皆さんの行動が藤浪中としての評価につながってきます。相手先に訪問するのですから、服装・行動・言葉遣いなど、いろいろなことに気をつけなければなりません。

そのような気配りは、当日すぐにできるものではありません。普段の生活の様子が自然に表れてくるものです。右のチェックリストで確認してみましょう。どれも普段の生活の中で気をつけていけば難しいものはありません。<チェックリスト>のすべての項目にチェックをつけることができるようにして体験入学に出かけましょう。



当日の持ち物、行き方等も確認しましょう。特に、駅などで友達と待ち合わせて行く場合は「集合時刻と集合場所」の確認をきちんと話し合っておきましょう。保護者の方も参加される場合、「親子で高校に向かう」「お父さんが事前指導で決めた集合場所に集まって一緒に高校に向かう」等、ご家庭で話し合っておいてください。なお、高校に車を停めるスペースは用意されていません。保護者の方が参加される場合も、公共交通機関を使っでの参加をお願いします。

コロナの影響によって直前に中止になる可能性もありますので、高校からの連絡のメールやHPを確認してから出かけるようにしてください。



上級学校の風を感じることで、自分の意識も高まってきます。そこで、半日または1日の体験入学を振り返り、体験したことや分かったことを参加報告書にまとめましょう。この積み重ねが、実際に受験校を決める際の道しるべとなり、面接のときの大きな武器になってきます。参加報告書は体験が終わった翌登校日に担任の先生に必ず提出してください。(提出されない場合、または体験入学を欠席した場合は「欠席届」を書いてもらいます。)

<チェックリスト>

◇服装

- シャツ出し× 名札
- ベルトやスカーフ
- 下着のシャツの色「白」

◇持ち物

- スリッパ (欠けていないか)
- 生徒手帳 体育館シューズ
- 靴のかかとをふんでいないか
- ナップサックに飾り物なし
- 自転車を改造していないか

◇行動

- 時間厳守 (余裕をもって)
- 余分な私語はなし
- 話を聞く姿勢
- 自転車のとめ方・カギ
- 靴のそろえ方

◇言葉遣い

- あいさつ「おはようございます」
- 言葉遣い「～です。～ます。」
- お礼「ありがとうございました」
- 注意を受けたら「すみませんでした」

◇登下校

- 自転車のヘルメット
- 自転車の並列運転×
- 電車内のマナー (騒がない)
- 駅のマナー (走らない)